

# 実践事例紹介

武蔵村山市立第三中学校  
教諭 宮川 賢志

---



# 武蔵村山市の紹介



- ・人口 70,997人
- ・市北部は埼玉県との県境である狭山丘陵  
ブルーナドームと近い
- ・市の西部の一部は横田基地
- ・かてうどん、東京狭山茶等が有名
- ・東京で唯一「鉄道のない市」



# 東京で唯一「鉄道のない市」！？



# 本校の取組実践

---

- 1 「新博キット」を使用した歴史学習
- 2 新聞スクラップ
- 3 新聞投稿チャレンジ

# 1 「新博キット」を使用した歴史学習

対象：中学3年 単元：「戦争に向かう世論」

学習指導要領 社会編(平成29年告示)

課題を設定し、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察できるようにすることなどが考えられる。これらの考察の結果を表現する活動を工夫して、「軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解できるようにする」というこの事項のねらいを実現することが大切である。

中学生の課題 「言葉で思考を整理したり深めたりすることに課題」



歴史の事象を学び、思考を深め、自らの言葉で整理し、表現する。



# 使用した学習キット 2-12「戦争と新聞」

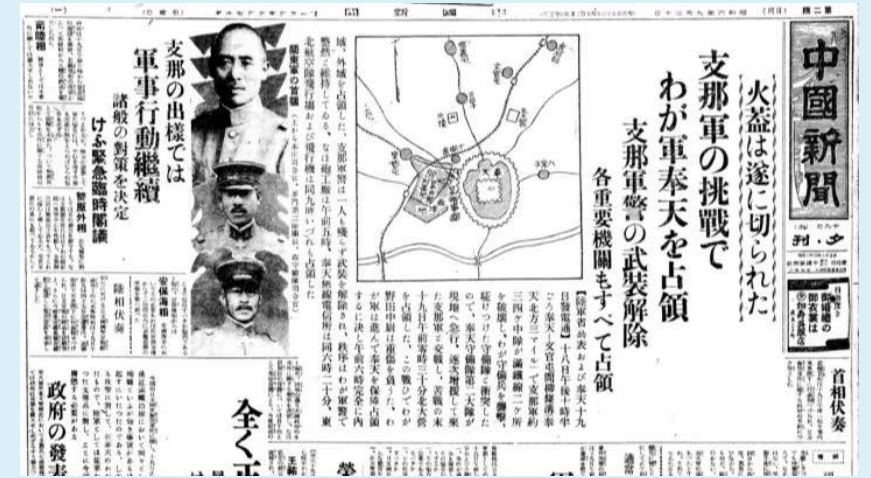
## 授業の流れ

- ① 学習課題の設定。「なぜ世論は戦争に向かったのか？」
- ② 仮説を立てる。
- ③ 当時の社会状況を学習する。

世界恐慌 ・ 満州事変 ・ 五・一五事件 ・ 二・二六事件

⇒ 新博学習キットの使用 当時の新聞を実際に読み、その当時の様子をより主体的に捉える

- ④「なぜ世論は戦争に向かったのか？」、軍部の台頭に着目して文章で自分の考えをまとめる。





# 生徒の考察

・世界に自分たちの発想や考えを否定されたくないからだと考えました。  
五・一五事件でもあつたように軍部として行ったことを総理に反抗され(反対)  
とにかく今、自分たちが「行っていることが正しいこと」で「国のために尽力している  
ことをたくさんの人に思ってもらいに行きた」と考え、中国にどんどん侵入して  
いったのも、自分たちの国の考えとして、強くなる思想があったからだと  
考えました。また、たくさん戦争を行っていくにつれ、自分たちでもどこで  
止めたらいいのかや勝利したことになり、もっと上に行けるんだと  
思ってしまったことに、その気持ちを国民に良い所のみを伝え、  
その情報を疑うことなく国民が飲んでしまったから、様々な部分が見えぬ  
完璧な政府だと思ひ込んでしまったことから戦争に向かっていたのだと分析しました。

他国  
批判

恐慌などにより国民の生活は非常に苦しくなつた。そんな中、軍部も似たようなことを感  
じており、遂に関東軍が満洲事変を起こし、国民も敵を外に作り、全員が団結し、同じ  
方向に向かう。おそらく、第1次大戦での大戦教がもう一度くると思ひました。また、メディア  
による影響力がとしても強く、軍部とも繋がつたと考えられる。確かに、国民の生活  
であったため、外に共通の敵を作れば世論は団結するため、軍部の策にハマつたといえる。こ  
うなうなうたうは、権力の集中を防ぐことが大切である。また、軍による暴走を止められる  
が、ほぼなく、いつも天皇のみだったから。

国民のイメージを左右する新聞が、自作自演など  
あつたかな独裁。国民、日本の世論を操作しようとし  
て行動である。情報の入手手段がそれくらいしかあつた  
当時、あまりにも不便でと言ふ。国民はそんな  
政府に踊らされ、あつたのだと言ふ。色々な考え方や  
価値観があつたのだから、一か月に日本が悪いとは言ふはなし、  
支持した国民も悪いとは言ふはなし。だが、国民を洗脳するよう  
にあつたのだから、政府は悪いが、悪い。そして、唯一  
違う考えで、大義名分の増強。当時の政府に必要なものは  
争いではなく、視野を広げることであつたのではないかと。  
世論が戦争に向つてしまつたのは、政府による洗脳で不可避であつた。

世の中の戦争で勝つ国が強い国ということが当時の常識のようになってしまつて  
いたから、当時の日本政府は戦争に対して強い思いがあつたのだと思う。  
新聞などで国民に真相が正しく伝えられていなく、政府が独裁的に  
国民を支配するような形になってしまつたから、世界や日本は悲惨な  
状況になつたのだと思う。またそれによって日本全体が戦争という  
方向に世論が向いてしまつたのだと思う。大正時代につくり上げられた  
民主的な政治や、自由な暮らしがこの時代にはなくなつていた。



国民たちは、日本の軍の自作自演を非難してはいたが、景気も  
復活して自分たちに利益がある<sup>あり</sup>と判断したから、軍部の考え、  
なく略に賛成したことで、<sup>こころ</sup>個立に向かっていた。また、  
国際連盟脱退を「良いこと」として報道し国民を惑わした  
ことも良くなく、国民も、<sup>自国</sup>自国の利益を、見出しにとらわれず  
現状を冷静に判断すべきだった。だから私も、一つの視点だけにとらわれず、全体をみて判断  
することが大切だと思った。

日本が自作自演を行い、大爆破(満州事変)をきっかけに軍隊が中心に動き始める  
ようになった。その当時の新聞も読んで「人々も不景気を解決しようと、軍隊  
に力を入れようとしている。五・五事件や二・二六事件があるし、完全に軍隊中心  
の世の中へと変わっていった。戦争の国へと向かっている。国全体を同じ考え  
にしている、全方向から「戦争」に基づいて考えられている。」  
新聞が都合のよいことをしか書かないで、世に出ていることは問題の一つだ。戦争  
軍に力をつけてよいことをしか言わないから、国の現状をちゃんと知っている国民たちは、  
本当に「戦争」に対しての勢いが強まっているのは「悪いこと」だ。ちゃんと「負けた」という  
ことがない、という世の中は、戦争はよくない、悪い方向へ向かっているという  
気がした。国の中にいる人たちは自分の利益しか考えていないから悪い方向へ  
いってしまっている。

この時代は、色々な誤解があり、その誤解がどんどん広がっていった  
ことが一番戦争に向かった理由の一つだ。と考える。  
そのことがあったことで世の中の人々は、不景気を解決しようとする考  
えが広がり、どこの情報もまちがった情報だったから今、めいれい  
されていることをしないといけなくな、たため、そのめいれいに  
よって、戦争に向かうようになっていった。

他の国の意見や政治のやり取り、<sup>加</sup>個立にこだわったこともあった。  
第一として自国の中で、政党政治のやり取り、自作自演というのを重視して、  
国民をだまして首相の座をとり、日本という国が少しくつらくなっていった  
と思った。もうひとつは、政党政治のやり取り、この世の不正な  
戦争失敗につながることではないかと感じることがあった。

衆議院の日本をいじめるように見出しの影響で、国民全体は世界が  
悪く、日本が正しかたに認識し、自分達の国だけを信用するようにな  
ってしまった。国際連盟をぬけず踏みとどまっていたら、衆議院の内容も  
変わり、日本国民の世界への認識が悪くならず、戦争にはつながらな  
かったと思う。



## 2 新聞スクラップ

### 毎週の週末課題

職員室前のNIEコーナーにある新聞を手に取り、1週間の新聞から気になった記事を1つもち帰りスクラップし、翌週の月曜日に提出する。



新聞を読む習慣を付け、文章力や意見を表現する力を育成する。



(0) 月 (2) 日 「讀者」新聞

新聞に対する信頼感が上昇!?

新聞を読むことがメディアへの信頼感などに  
どのような影響があるのかを調べるため、  
4月7月8月 埼玉県浦和市立美里中の1年生(14)  
に毎日新聞を配布し、各学級で「四つの  
情報(イメージ) (読み聞かせ)」に関する授業をした。  
生徒には「6月20日(土)に「読書回覧マンデー」を  
新聞を配布していない別々の同市立中学校とし  
た。

新聞を配布した菜箸中の生徒は、配布しなかった  
やうに比べて、新聞への信頼度が有意に高い。  
菜箸中は毎日火曜・木曜・土曜に各10分間の  
NIE (教育と新聞と) 活動1時間と設けている。

最初社会科の授業でNIE活動をしているので  
この記事を見下しきに、新聞を読みたい。新聞に  
対する信頼感が上昇すると知って、色々な  
学校で新聞を読みたい習慣をつけた。NIEの活動  
を取り入れたところ、いいところだ。

●新聞のニュースに対する信頼度  
※5点満点の平均値、無回答は除く

グループ	4月	7月
新聞を配布した美中学生	3.14	3.61
新聞を配布しなかった中学	3.30	3.39

この5点「全然信頼できない」～「1点の5段階で尋ねた」

た。7月には計3回の上昇、平均は4.1の、3・14から7月は3・61点に上昇した。新聞配付率は中受で7月から9月にかけ、高層ビル計4棟から計45棟、平均は3・30点から3・39点、ほぼ倍になった。

小林教員は「新聞を配布した美浜町の生徒は、配布された中で半分以上が新聞へへの価値観を意に上昇した。ネットでもマスメディア向けられ不信感を持っているには、若い世代に『新聞配付』という可能性がある」と。

美浜町では水曜上戸の朝に10分間のNBS「教育・新聞」課の時間を設けている。活字の時代を生きる若者の時間・新聞を眺め、気になるときに手をのけたり、新聞を自宅に取り帰ったなど、と受け組む。新聞を積極的に読むことを後押しする。

◆関連記事「頭お

(8)月(27)日「東京」新聞

## 10代起業家はどう思考する？

⑤ 自分のアイデアが面白い、サービスモデルに  
新しく「事業」を自分で立ち上げる = 2。

(15歳以上登録可)

15歳未満の場合 => 親の権者の同意を得た  
「親もまじ業」で会社を  
設立可

に就いては業多しとて  
まゐるはともいひつゝ  
し、二六を以てに業に就いて  
す周るゝとがたはとて  
まゐらた。

自分自身起る。こゝろにとにあり  
 り心かたなり、起業といふこと  
 とするはたけりやせむてした。  
 でも、今因の起業を見つて  
 詞へてみよとと思ひ返し、おけ  
 に存りし。思ひ、起業とは  
 どうぞものや何れかしでさう  
 の外には情愛をわたりておきま  
 ててもたない。すなはち、荷米人に  
 なつて起業とさして来り来るが  
 したまん。その時にこの起業  
 は思ひ返して見ると、てめえと  
 思ひます。

(9)

閑坐・星池

「すこ」と思われるかも知れませんが、何か大人顔の発明者でなければなりません。小さいころから早くきたら思つて、「起すれば、すぐに動ける」とす。

[illegible]

感覺過敏は、視覚・聴覚・触覚・嗅覚など五感で受け取る刺激に反  
応し、苦痛や不快感を感じることがある。  
聴覚：電車の音、人の声、視覚：空

事業に取り組んでいます。

起業から7年、19歳になりました。高校でも通信制で学びながらの経営ですが、本当に起業して良かったと思っています。感覚過敏もあって学校の居場所のなさを感じていたこの私は、学校がすばてであり、広い世界だと感

学校の外の広い世界へ



## 新聞記事の切り貼り

虫が寄らない「シマウシ」

他にもこんな  
イグノーベル賞が??

◇栄養賞「トカゲはチーズピザ好き」

◇平和賞「酔うと外国語が滑らかになる」

◇航空賞 酔ったコウモリは  
飛ぶのが下手  
◇工学デザイン賞 消臭機能つき  
靴下

他にもあるのでせう



人々を笑わせ、考えさせた研究に贈られる「イク・ノ  
ーベル賞」の受賞者が18日（日本時間19日）に発表され  
た。牛をシマウマのような柄に染めて、アブやサシバエ  
などの吸血昆虫が付きにくくなる工を突き止めた農業  
・食品産業技術総合研究機構の任期付き研究員、児嶋昭  
貴さんらのチームが生物学賞に輝いた。

イグノーベル賞日本人19年連続受賞

牛の体に付いた吸血昆虫の数を調べる装置

シマウマのような模様の牛

56匹

先行研究で、家畜について深刻な害虫である吸血昆虫に悩まされているところを知ったことを受けて、



農家の牛の行  
ことが  
シマウ  
に刺さ  
がある



黒いし  
模様の牛



模様の  
ない牛

128

愛知県農業総合試験場の資料から



(白)色の染料を好意。  
②(白)色の染料を付けるのを  
黒色の染料でし、また模様の  
付くものでもない。  
三つのパターンで虫の性質  
をわけてきた。右半  
身の写真を撮って付着  
した虫を数えたところ、  
①のシマウマ模様にした牛  
が他の半分ほどだった。  
頭や尾を振るといった虫  
の動きはほとんど同じだ  
と判断された。

(小)動物(小)昆虫

## イグノーベル賞って何??

私はこの記事を読んで初めてイブソーバル賞があることを知りました。イブソーバル賞とは牛を愛せ、考えた研究に贈られる賞で日本の愛畜は19年連続だそうです。今回受賞した児島さんは牛をしまうような棚に置ると、虫が付きにくくなることも突き止めました。見出しで書かれた時は「ラマウ」という動物がいたのかと思いましたが、児島さんらの実験したことを読んでとても驚きました。なんと、ラマウの模様の牛と模様のない虫とでは半分以上も虫の付着に差がありました。牛でこんなに差があるのなら、人も黒と白のボーダーの服を着れば虫が寄り付かないのかなと気になりました。



## 新聞記事の切り貼り

# 米の姿勢転換 歓迎

【ニューヨーク】池田慶太郎は、米国のトランプ大統領は、立場を覆した。トランプ氏は、

[illegible]

米国のトランプ大統領は、  
と会談するウクライナのゼ  
レンスキー大統領とAP

来年 付加価値税22%に  
ロシア財務省は4月、日  
本の消費税に相当する付加  
価値税の税率を2012年  
から、現行の20%から22%  
に引き上げることを発表し  
た。「国防と安全保障の買

最近 ロシアとウクライナの戦争に付いて、ユーチューブで見かけました。おぼつけないです。そのため今回この新聞を読んで、まず戦争についてなにかという驚きがありまして、この新聞がアメリカやヨーロッパの紙と全然別物でウクライナの内容とは限りません。ロシアとウクライナという記事でした。自分の身近で起きていることを知らなかった。あれくらいひどいものでしょうか。たしかに戦争はもう始まっています。中国にも脅威があると思います。

三浦氏新聞社社長

を明確に理解し、十分に情報を得ている。決意に感謝する」と投稿した。

トランプ氏は、ロシアの航空母艦が北大西洋条約機構（NATO）加盟国の領空を侵犯した場合は撃滅すべきかどうか記者団から問われ「そうすべきだと思う」と答えた。また、プーチン露大統領の個人的関係が、あえて和約が容易だとされていると知り返り「残念なことにプーチン氏との関

金運の盛衰は、時勢で、ウツ  
 ライナ格の歸順化で、ウツ  
 心戦を、確保する。政府に  
 提出し、第28年、第29年、  
 税法改正案を盛り込む。第  
 28年、第29年、第30年、  
 第31年、第32年、第33年、  
 第34年、第35年、第36年、  
 第37年、第38年、第39年、  
 第40年、第41年、第42年、  
 第43年、第44年、第45年、  
 第46年、第47年、第48年、  
 第49年、第50年、第51年、  
 第52年、第53年、第54年、  
 第55年、第56年、第57年、  
 第58年、第59年、第60年、  
 第61年、第62年、第63年、  
 第64年、第65年、第66年、  
 第67年、第68年、第69年、  
 第70年、第71年、第72年、  
 第73年、第74年、第75年、  
 第76年、第77年、第78年、  
 第79年、第80年、第81年、  
 第82年、第83年、第84年、  
 第85年、第86年、第87年、  
 第88年、第89年、第90年、  
 第91年、第92年、第93年、  
 第94年、第95年、第96年、  
 第97年、第98年、第99年、  
 第100年、第101年、第102年、  
 第103年、第104年、第105年、  
 第106年、第107年、第108年、  
 第109年、第110年、第111年、  
 第112年、第113年、第114年、  
 第115年、第116年、第117年、  
 第118年、第119年、第120年、  
 第121年、第122年、第123年、  
 第124年、第125年、第126年、  
 第127年、第128年、第129年、  
 第130年、第131年、第132年、  
 第133年、第134年、第135年、  
 第136年、第137年、第138年、  
 第139年、第140年、第141年、  
 第142年、第143年、第144年、  
 第145年、第146年、第147年、  
 第148年、第149年、第150年、  
 第151年、第152年、第153年、  
 第154年、第155年、第156年、  
 第157年、第158年、第159年、  
 第160年、第161年、第162年、  
 第163年、第164年、第165年、  
 第166年、第167年、第168年、  
 第169年、第170年、第171年、  
 第172年、第173年、第174年、  
 第175年、第176年、第177年、  
 第178年、第179年、第180年、  
 第181年、第182年、第183年、  
 第184年、第185年、第186年、  
 第187年、第188年、第189年、  
 第190年、第191年、第192年、  
 第193年、第194年、第195年、  
 第196年、第197年、第198年、  
 第199年、第200年、第201年、  
 第202年、第203年、第204年、  
 第205年、第206年、第207年、  
 第208年、第209年、第210年、  
 第211年、第212年、第213年、  
 第214年、第215年、第216年、  
 第217年、第218年、第219年、  
 第220年、第221年、第222年、  
 第223年、第224年、第225年、  
 第226年、第227年、第228年、  
 第229年、第230年、第231年、  
 第232年、第233年、第234年、  
 第235年、第236年、第237年、  
 第238年、第239年、第240年、  
 第241年、第242年、第243年、  
 第244年、第245年、第246年、  
 第247年、第248年、第249年、  
 第250年、第251年、第252年、  
 第253年、第254年、第255年、  
 第256年、第257年、第258年、  
 第259年、第260年、第261年、  
 第262年、第263年、第264年、  
 第265年、第266年、第267年、  
 第268年、第269年、第270年、  
 第271年、第272年、第273年、  
 第274年、第275年、第276年、  
 第277年、第278年、第279年、  
 第280年、第281年、第282年、  
 第283年、第284年、第285年、  
 第286年、第287年、第288年、  
 第289年、第290年、第291年、  
 第292年、第293年、第294年、  
 第295年、第296年、第297年、  
 第298年、第299年、第300年、  
 第301年、第302年、第303年、  
 第304年、第305年、第306年、  
 第307年、第308年、第309年、  
 第310年、第311年、第312年、  
 第313年、第314年、第315年、  
 第316年、第317年、第318年、  
 第319年、第320年、第321年、  
 第322年、第323年、第324年、  
 第325年、第326年、第327年、  
 第328年、第329年、第330年、  
 第331年、第332年、第333年、  
 第334年、第335年、第336年、  
 第337年、第338年、第339年、  
 第340年、第341年、第342年、  
 第343年、第344年、第345年、  
 第346年、第347年、第348年、  
 第349年、第350年、第351年、  
 第352年、第353年、第354年、  
 第355年、第356年、第357年、  
 第358年、第359年、第360年、  
 第361年、第362年、第363年、  
 第364年、第365年、第366年、  
 第367年、第368年、第369年、  
 第370年、第371年、第372年、  
 第373年、第374年、第375年、  
 第376年、第377年、第378年、  
 第379年、第380年、第381年、  
 第382年、第383年、第384年、  
 第385年、第386年、第387年、  
 第388年、第389年、第390年、  
 第391年、第392年、第393年、  
 第394年、第395年、第396年、  
 第397年、第398年、第399年、  
 第400年、第401年、第402年、  
 第403年、第404年、第405年、  
 第406年、第407年、第408年、  
 第409年、第410年、第411年、  
 第412年、第413年、第414年、  
 第415年、第416年、第417年、  
 第418年、第419年、第420年、  
 第421年、第422年、第423年、  
 第424年、第425年、第426年、  
 第427年、第428年、第429年、  
 第430年、第431年、第432年、  
 第433年、第434年、第435年、  
 第436年、第437年、第438年、  
 第439年、第440年、第441年、  
 第442年、第443年、第444年、  
 第445年、第446年、第447年、  
 第448年、第449年、第450年、  
 第451年、第452年、第453年、  
 第454年、第455年、第456年、  
 第457年、第458年、第459年、  
 第460年、第461年、第462年、  
 第463年、第464年、第465年、  
 第466年、第467年、第468年、  
 第469年、第470年、第471年、  
 第472年、第473年、第474年、  
 第475年、第476年、第477年、  
 第478年、第479年、第480年、  
 第481年、第482年、第483年、  
 第484年、第485年、第486年、  
 第487年、第488年、第489年、  
 第490年、第491年、第492年、  
 第493年、第494年、第495年、  
 第496年、第497年、第498年、  
 第499年、第500年、第501年、  
 第502年、第503年、第504年、  
 第505年、第506年、第507年、  
 第508年、第509年、第510年、  
 第511年、第512年、第513年、  
 第514年、第515年、第516年、  
 第517年、第518年、第519年、  
 第520年、第521年、第522年、  
 第523年、第524年、第525年、  
 第526年、第527年、第528年、  
 第529年、第530年、第531年、  
 第532年、第533年、第534年、  
 第535年、第536年、第537年、  
 第53

[illegible]

た」と物やんだ。

日本銀行の消費税は  
昭和二年から、70%に増した。  
更に工上へつたものと同一  
税率を課している。  
それとあり方ではちがう。  
国にも影響がある。云々

れ。



1) 月 ( 8 ) 日 「 岩手日報 」 新聞

端手日報

2025年（令和7年）1月

血糖値とは、

食事のコーヒールと替えるだけの  
手軽さで好評

「食後の血糖値が気になる方に、毎日の食生活を楽なでいたたけ方を考えたい。き、ようやくたり薄いな」が食事で自然に相合せられる「コーヒ」でできた、美味しコーヒを飲むだけで、食事を美味しく、しかも健康的に楽しめるなら、食後の血糖値が健康になる方にとっては嬉しいですねと語るのは、**「シュガーレスコーヒ」**の開発から製造、販売までを手がける(株)総本社との創業者、飯修氏氏。

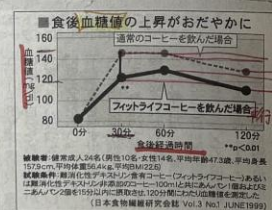
味にもこだわり「毎日の習慣として続けやすい」と人気の「フィットライフヨーヨー」。

同商品には、食事に食  
れる糖の吸収をおだやか  
る働きを持つ食物繊維  
難消化性デキストリン

が豊富に含まれており、健康成人24名が同商品を飲みながらあんパンを食べるというヒト試験では、右記ケラフの様に食後の血糖値の上昇がおだやかになることが認められた。

この働きにより、コーヒー  
としては日本で初めて<sup>※</sup>  
「食後の血糖値の気になり  
はじめた方に適している」  
として、消費庁より特定  
保健用食品（トクホ）の表  
示許可を受けている。

フィットライフコーヒート ミハ総本社「京都市」  
 平成30年の国民健康・栄養調査によると、90代のおおそ二人一人が  
 食・主菜・副菜を組み合わせた食の頻度が週以下と回答している  
 食のことが年々ない理由として「手間がかかる」「割合が最高」「健  
 康食だから中高年続の中にも悪い食べ方がある」です。  
 そんな方にこそ、フスマが、習慣食生活で特定保健用食品トホの希  
 示許可を受けている「フィットライフコーヒート」だ。健康が気になる中高  
 層や、美容・健康を心がける女性たちから「気が高く、楽しみが自分  
 に似ていても身体がいい」と評判の同商品の魅力について取材した。




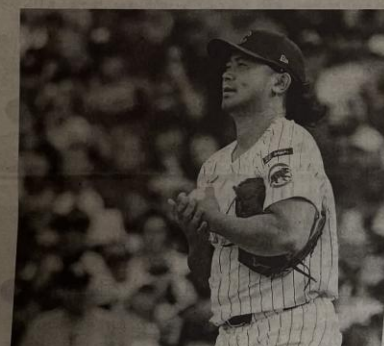
↓ クラフ  
対称関係を行っている。  
→ 効果的なやり方になる。

(10)月(2)日「読売」新聞

新聞記事の切り貼り

WCシリーズ

「ワイルド平原」米リッ  
クは「ワイルド平原」W  
C、ナリス、3回戦が、行  
われ、ナリスは、ダレビ  
ツシに松井が、優勝するハレス、西地  
区4位。が、今、0、0、0、0、0、0、0、0、0、0、  
水の水のカスス、水の水の  
カススを破り、1、0、0、0、0、0、0、0、0、0、  
5番まで、4、4、4、4、4、4、4、4、4、4、  
で、松井は今も、4、4、4、4、4、4、4、4、4、4、  
失点した。松井は今も、4、4、4、4、4、4、4、4、4、4、  
アリックでは、ヤキス、東角の、  
が吉田レッドツ、東角の、を4、  
3で勝た、吉田は七回代打、出場  
して野安打を記録した。カステラ  
ン(中位)がナリス、中位に  
6で勝った。いずれも、勝敗



USATC

今永被弾カブス黒星

永永は「目標た」といふ言葉を、初登場から、流れるようにきかせる。きかたがた、

五回 元 翼 打席には一番のマチャヤ。丁順に攻めた1場面、で初球はスプリットだった。これが甘な下。 「膝から下に投げたき球がストライクゾーンに入ってしまった」。今永は打たれて笑ってしまった。今永は打たれて物々しく、左翼席へ描かれた放物線に顔をしかめた。

この日、カブスは、オーバナ―を採用。今永は、回からマ

## 目標の舞台 悔しさ

ウィンドにうがって、投げうつのつもりで、全部全力で投げる。課題の立ち上がりは8人分付け、得点圏に走者を背負った三、四回も踏ん張った。カウセル監督が「いい投球だった」と言ったのは、決して厳めではない。だからこそ、本塁打をされた球が惜しかった。「なぜあんなにリリースをしまったのか。もっとやるべきことがあったんじゃないか」と今来、待合集がいられた舞台は悔しさが残った。(平沢祐)

第3戦にダル  
「初球から全力」  
バドレス

〔MLBポストシーズンのイタ組〕  
アメリカンリーグとナショナルリーグのそれぞれで最も成績が良いチーム。6チームずつがポストシーズンで戦う。  
ポストシーズンは、ワールドカードシリーズ、リーグチャンピオンシリーズ、ワールドシリーズの4つのシリーズがあり、勝利したチームがMLBの最高の栄誉を手に入れます。  
今年のポストシーズンは、大谷翔平、山本由伸、佐々木朗希のいるドジャース

今永昇太、鈴木誠也のいる  
カラス、タリビッシュ有、松井  
裕樹のいるパドリスの3つのチーム  
が勝ち上がっている。今後が  
楽しみだ。次の試合で、カラスとパドリスの  
どちらかが落しませんが、どちら元も元張、てほしいです。





### 3 投稿チャレンジ

---

400字の原稿用紙1枚に、身近な疑問や社会への提言など、自らの意見や想いを交えた文章を作成し、新聞社に投稿する。長期休みなどには課題にすることがあるが、基本的に提出は生徒の任意。





中学生 富田 音葉 13
(東京都武蔵村山市)
私は初めて行ったこの会話を...

会話盛り上げの秘策

少しは盛り上げられませう。
最近では、「推し」の人が増えて...

中学生 武部 かん 15
(東京都武蔵村山市)
私は普通、修学旅行で大阪・関...

万博への修学旅行疑問

内容が生徒の年齢や学習にらつて...

中学生 大平 華鈴 14
(東京都武蔵村山市)
私は半ばほど前から姉妹と巨人...

大切にしたい百人一首

思えば、負けず嫌いの私にぴった...

中学生 神鹿 咲南 12
(東京都武蔵村山市)
地球温暖化は、18世紀後半...

地球を守るために

増えることで、気温上昇、異常気象...

人は生きていたら、ほとんどの人が失敗して...

失敗こそ成長の糧

中学生 吉田 拓夢 14
(東京都武蔵村山市)
僕は、部活動などでたくさん失敗...

中学生 比山 桂樹 12
(東京都武蔵村山市)
兄は、アルバイトから帰って...

賞味期限留意します

食べ物大切にするをまじり...

来年4月が自転車の交通違反...

自転車専用道整備も進めてほしい

見かけますが、数が少ないし、...

中学生 九田 悠蘭 14
(東京都武蔵村山市)
昨年、高校野球に海はな低反発...

野球の7回制導入反対

いる、魅力ある「ホームラン」が...

中学生 荻野 夏蓮 15
(東京都武蔵村山市)
最近話題のAチャットを試して...

肯定的返答多いAチャット

とで、自分の考えが深まることも...

中学生 中村 樺輝 14
(東京都武蔵村山市)
私の座右の銘は「桜梅桃李」だ...

「桜梅桃李」座右の銘に

と、たまたま座右の銘の「桃」に...

中学生 櫻井 聖輝 14
(東京都武蔵村山市)
そろそろ夏本番ですね。今僕は...

「異次元の暑さ」に不安

こんな異次元の暑さの暑さの暑さは...

中学生 増田 隼人 15
(東京都武蔵村山市)
1日だけスマートフォンをわ...

スマホ断ち見えたこと

たに思いました。スマホは便利で...

中学生 津島 真 14
(東京都武蔵村山市)
以前、私は自動販売機でジュース...

自販機への信頼を回復

とあるコンビニに見られた。お金入...

# 今後の取組課題

---

- ・授業内でのより積極的な新聞活用
- ・新聞スクラップの習慣の定着化
- ・投稿チャレンジの応募数の増加



社会の事象に関心をもち、「自分の言葉で考えを整理し表現する」力の育成

ご清聴ありがとうございました。

---